

2017年7月10日
株式会社川島織物セルコン

「帯」の歴史をかいま見る 『帯 ひと昔 一格调高い丸帯の世界—』展 開催

会 場:川島織物セルコン 織物文化館
会 期:開催中～2018年6月末ごろ

「丸帯」をご存知ですか？江戸時代に誕生したとても豪華な帯です。昭和の初めまで日常的に使われていましたが、重く扱いづらいからと“袋帯”が使われるようになって、現在では婚礼衣装や舞妓の衣装、振袖用など特別な場で締められる最高級の帯となり、生産量もごくわずかになってしまいました。

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市 社長:山口進)は、本会社に併設の織物文化館(京都市左京区)で、今では貴重となった丸帯を紹介する『帯 ひと昔 一格调高い丸帯の世界—』展を開催中です。昭和初期に当社で製作し大切に使用していただいたのち、縁あって当社に里帰りしてきた川島織物製の丸帯 12 点を展示しています。綴・紋・絹など用途に合わせた製作技法の違いや、柄と柄の付け方など、丸帯の豪華さと共に当時の趣向がわかります。また、実際に使用されていた帯ですので、当時の流行を伺い知る事ができるのも、この展示の魅力です。

丸帯をこれほど一度にご覧頂けるのは珍しいことです。この機会に是非ご覧ください。



紋丸帯「柿」



綴丸帯「七宝華紋」

帯 ひと昔 一格调高い丸帯の世界—

- 【会 期】 開催中～2018年6月 (予定)
- 【会 場】 川島織物セルコン 織物文化館
(<http://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>)
- 【休 館 日】 土・日・祝祭日、夏季、
年末年始 (川島織物セルコン休業日)
- 【入 館 料】 無料
- 【見学予約】 見学は事前予約制
事前にお電話で予約を入れて下さい。
ご予約専用電話：075-741-4323

本件に関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン(<http://www.kawashimaselkon.co.jp/>)
報道関係の方から 広報担当 有賀 (松本) TEL:075-741-4316

■川島織物セルコン 織物文化館 概要■

1889(明治22)年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。

館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静市市原町265 株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前10時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

休館日：土、日、祝祭日、夏季、
年末年始(川島織物セルコン休業日)

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制
ご予約専用TEL:075-741-4323

ホームページ:

<http://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

アクセス:

- 地下鉄「国際会館」駅より
 - ・京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分
 - ・タクシー 約10分
- 叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約7分
- 京都駅より タクシーで約40分

